



平林金属クに加入した(左から)黒岩陽斗、迎錬磨、赤坂優真

男子ソフト 平林金属クに新戦力3人

目指せ開幕スタメン

ソフトボール男子の平林金属ク(岡山市)に、3人のルーキーが加わった。いずれも大学、高校の全国舞台で結果を残した有望株は、日本リーグ2連覇中の強豪でレベルアップを図る。

昨秋の全日本大学選手権で4強に入った環太平洋大の黒岩陽斗(22)≪180センチ、72キロ≫は即戦力候補だ。遊撃、三塁など複数のポジションをこなせ、「大学生の内野手なら全国で3本の指に入る」と吉村啓監督の評価は高い。大学では1番を打ち、機動力も備える。兵庫・東洋大姫路高OBの23歳。変化球も多彩で、1

黒岩は「強みを伸ばし、自分の立ち位置を固める1年にする」と主力の引退でレギュラーが固定されていない三塁手の定位置獲得を狙う。

昨年の全国高校選抜、全国高校総体で優勝した長崎の名門・大村工高から加入するのは189センチ、98キロの大型右腕・迎錬磨(18)と内野手の赤坂優真(18)≪172センチ、70キロ≫。ともに日本代表でも活躍する投打の柱、松田光(33)に憧れ、入社を決めた。

黒岩内野手(環太平洋大)ら意欲

年目から期待に応え、いつか松田さんと肩を並べられる投手になる」と志は高い。高校時代は遊撃だった赤坂も「クラブさばきには自信がある。打球への対応力をもっと磨く」と意欲的だ。守備力に加え、打撃センスもある。

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、日本リーグの開幕は4月から6月に延期された。黒岩は「異次元レベルの先輩たちに少しでも近づくチャンスと捉え、開幕スタメンを目指し鍛錬に励む」。

(田井香菜子)